科目名	スポーツ医学　　Sports Medicine						
科目担当者	尾﨑 勝博　　OZAKI Katsuhiro						
単位数	2	**配当年次**	1年	**授業形態**	講義	**開講学期**	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　スポーツ・健康］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　スポーツ・健康］					**ディプロマポリシーとの関連**	(2)(4)

授業の概要	スポーツと健康の意義を理解しつつ、アスリートに多い内科的、整形外科的疾患について学ぶ。また最近話題となっている女性アスリート特有の疾患、精神的疾患についても理解する。突然死に対しても率先して対応できることを目的に救急処置、応急処置についても具体的に実技ができるよう講義を進める。最後は最近増加しているドーピング検査について禁止薬物や市販の薬についての注意点について学ぶ。
授業の到達目標	① スポーツと健康について学ぶ ② アスリートの健康管理や内科的、整形外科的スポーツ障害について理解を深める。 ③ 女性アスリート特有の疾患について理解し対応できるようになる。 ④ スポーツ選手の傷害の予防、コンディショニングの手法について学び、日頃から自分自身で実践できるようになる。 ⑤ 救急処置や外科的応急処置について学び、その場での対応ができるようになる。 ⑥ アンチ・ドーピングについて学び、日頃から注意を払うように心がける。

授業計画・内容		
	1	スポーツと健康
	2	アスリートの健康管理
	3	アスリートの内科的障害と対策
	4	アスリートの整形外科的傷害と対策
	5	女性アスリート特有の障害と対策
	6	スポーツによる精神障害と対策
	7	外傷・障害の予防
	8	メディカルチェックについて
	9	コンディショニングの手法（ストレッチング）
	10	コンディショニングの手法（テーピング）
	11	救急処置（救急蘇生法）
	12	救急処置（外科的応急処置）
	13	アンチ・ドーピングとその制裁・上訴
	14	禁止薬物の具体例と治療使用特例（TUE）
	15	ドーピングに対するスポーツ指導者の役割

授業外学修 (事前学修)	2 時間以上の次回の授業範囲を学習する。
授業外学修 (事後学修)	授業後には講義で使用したプリントを 2 時間再学習する。

成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	授業で使用するプリントの記載状況 定期テスト	20% 80%	①②③④⑤⑥ ①②③④⑤⑥

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	『Reference Book』公益財団法人日本スポーツ協会発行
参考文献	宗田　大「復帰をめざすスポーツ整形外科」第 1 版　株式会社メディカルビュー2011 年
その他	